



# 第12期第3四半期 決算補足資料

FY2022 3Q  
2021.3.1～2021.11.30  
Financial Material

## Index

---

2022年2月期 第3Q 業績ハイライト(連結)	3P
売上高(業態別)・原価率の四半期推移	5P
既存店前年比(コロナ前比)	6P
段階利益の四半期推移	7P
出退店の状況	8P
販管費(固定費)の抑制について	9P
損益計算書(連結)	10P
貸借対照表(連結)	11P
[再掲] 今後の取り組み	12P
[変更なし] 業績ガイダンス	18P
新市場区分の上場適合基準の適合について	19P
Appendix	20P

## 業績のハイライト（連結）

- 第3Q、10月から全店で順次営業再開、深夜・早朝帯は一部のみ再開  
(9-11月)
- 客足の戻りはコロナ前比の7割程度、11月単月で営業黒字回復
- コスト抑制の定着や助成金制度の活用で、第3Q 経常利益2,780百万円  
(前年同期 経常利益 △3,058百万円)

お知らせ：株主優待券(券面色 オレンジ、紫)のご利用期限を22年2月28日まで再延長いたしました。

参照：当社HP「株主様ご優待券の有効期限再延長に関するお知らせ」(2021年9月10日)

# 業績のハイライト（連結）

■ 営業再開で売上高は回復基調、第2Qに続いて第3Qでも経常黒字を計上 第3Q累計の経常利益2,780百万円

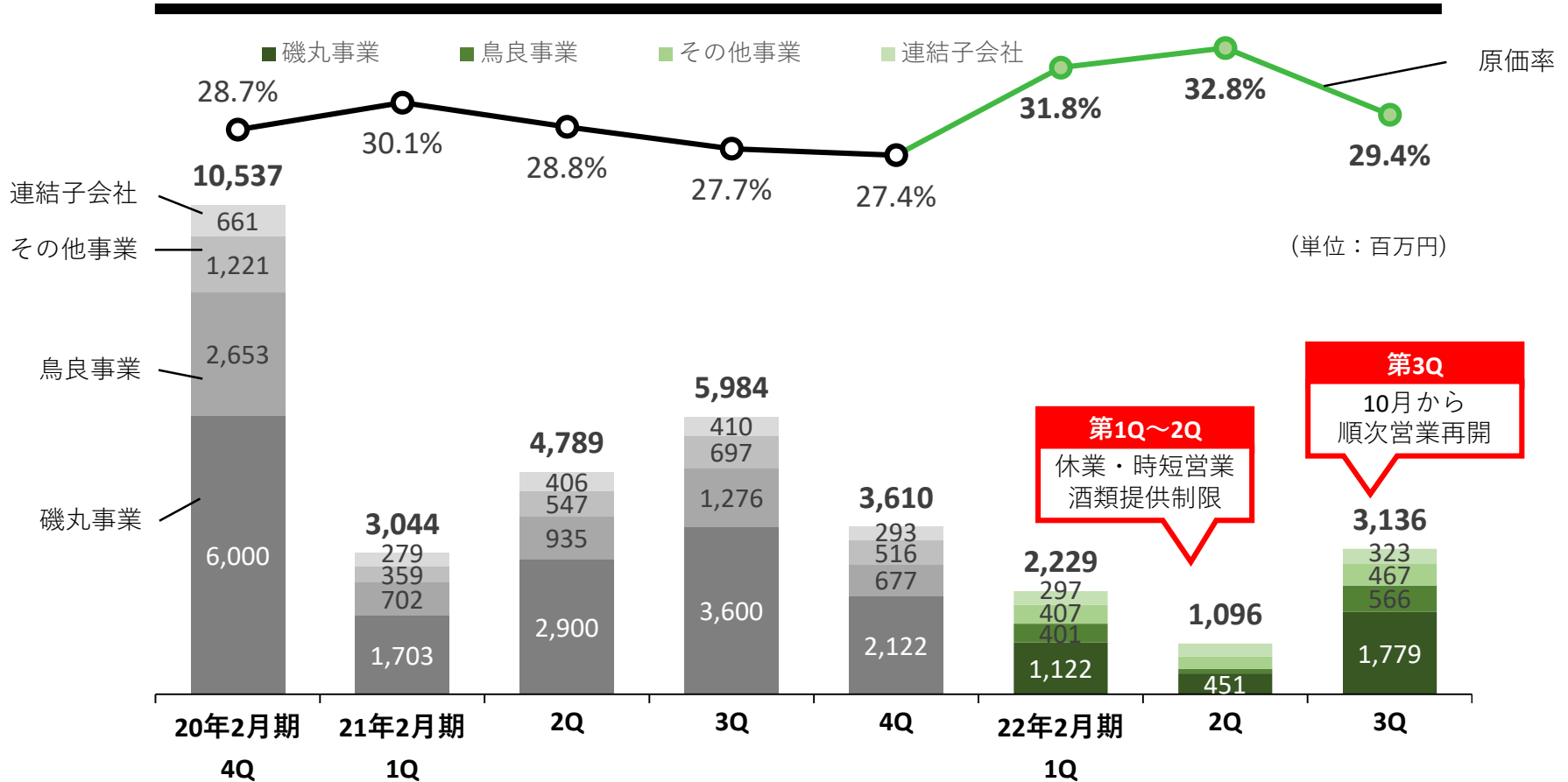
(百万円)	2022年2月期				2021年2月期(コロナ禍)		2020年2月期(コロナ前)	
	1Q (21年3月～5月)	2Q (21年6月～8月)	3Q (21年9月～11月)	3Q累計 (21年3月～11月)	3Q累計 (20年3月～11月)	増減	3Q累計 (19年3月～11月)	増減
売上高	2,229	1,096	3,136	<b>6,462</b>	13,818	△7,356	29,679	△23,216
営業利益	△2,283	△2,826	△1,545	△ <b>6,655</b>	△3,380	△3,275	1,821	△8,476
経常利益	△121	1,247	1,654	<b>2,780</b>	△3,058	5,838	2,102	677
当期純利益	△147	1,040	1,291	<b>2,184</b>	△3,506	5,691	1,188	996

百万円未満は切り捨てて表示

# 売上高(業態別)・原価率の四半期推移

■ 第3Q (9-11月)、10月から順次営業再開、深夜・早朝帯は一部のみ再開

売上高(業態別)・原価率の四半期推移



磯丸事業：磯丸水産全店、 鳥良事業：鳥良、鳥良商店、 おもてなし鳥良、 その他事業：きづなすし、五の五、いち五郎他、  
 連結子会社：ジョー・スマイル(熊本)、クルークダイニング(長野)

# 既存店前年比（コロナ前比）

■ 客足の戻りは、前々年比（コロナ前比）で7割程度まで回復（営業再開後の11月は68.2%）

< 2020年2月期 既存店前年比 >

2020年 2月期	2019年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年 1月	2月	通期計
前年比	98.6%	96.6%	98.3%	97.1%	100.2%	102.3%	99.7%	92.6%	101.0%	99.1%	103.7%	96.6%	99.0%
既存店数	217	219	221	224	244	243	238	237	242	235	233	227	—

< 2021年2月期 既存店前年比 >

2021年 2月期	2020年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年 1月	2月	通期計
前年比	62.1%	58.9%	58.5%	48.5%	59.4%	50.4%	64.0%	76.0%	70.8%	57.3%	37.1%	40.1%	59.1%
既存店数	237	5	6	198	203	193	197	198	200	194	116	109	—

< 2022年2月期 既存店前年比 >

2022年 2月期	2021年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 (速報値)	3Q(累計)
前年比	57.5%	121.5%	117.7%	88.4%	83.7%	75.2%	64.1%	74.8%	95.1%	117.0%	76.8%
既存店数	190	4	5	28	41	25	28	74	193	185	—

< 2022年2月期 既存店前々年比（コロナ前比） >

2022年 2月期	2021年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 (速報値)	3Q(累計)
前々年比	36.5%	30.2%	7.1%	14.7%	16.4%	5.4%	5.3%	40.4%	68.2%	67.7%	24.8%
既存店数	187	187	188	189	193	190	191	190	188	183	—

**11月**  
時短営業で  
7割程度回復

既存店：期初時点において、出店から13ヶ月経過した店舗

既存店前年比：既存店を対象として（1日でも休業した既存店は算出対象から除外）前年の売上高実績と比較した値（通例方式）

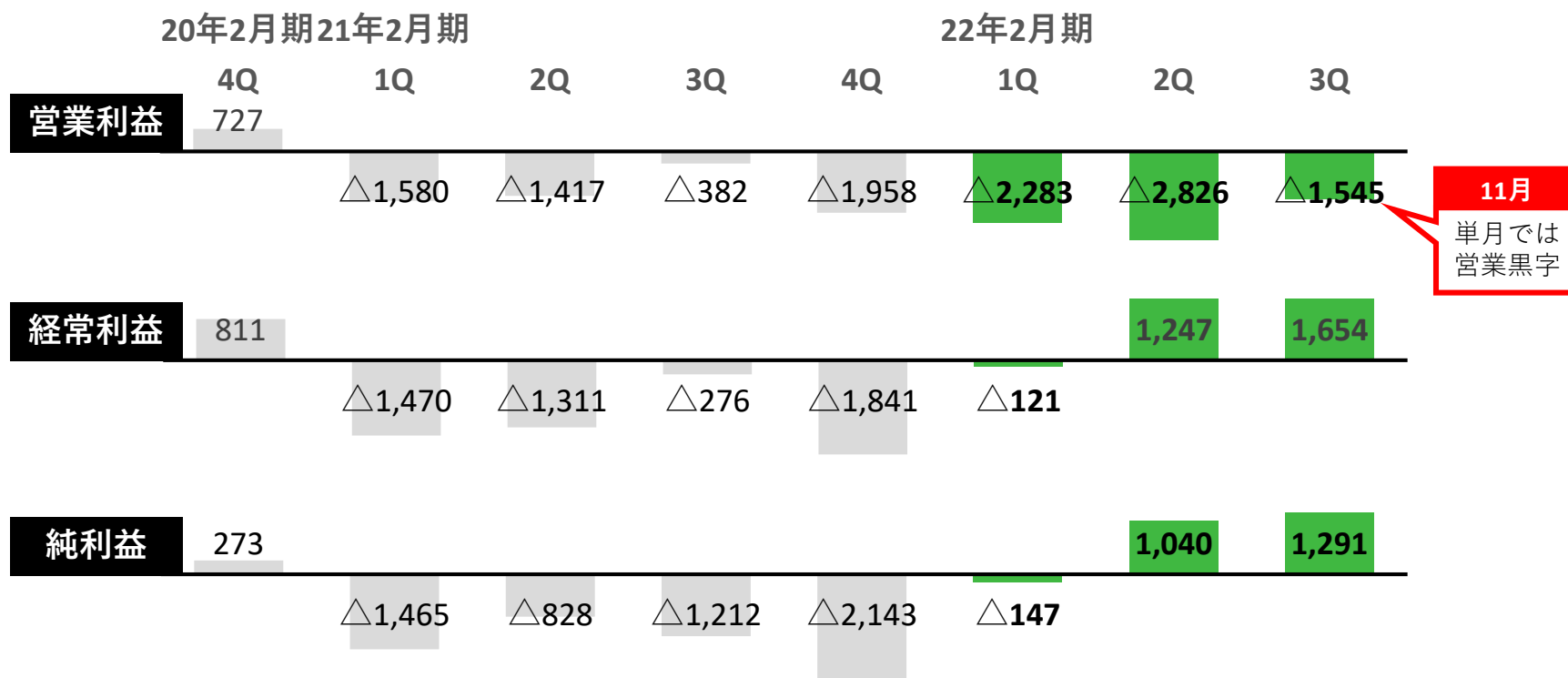
既存店前々年比：コロナ禍の影響で休業した既存店を算出対象から除外せず、コロナ禍の影響がない前々年の売上高実績と比較した実態に近い値

# 段階利益の四半期推移

■ 第3Q（9-11月）営業赤字縮小、11月単月では営業黒字回復、第2Qに続いて第3Qでも経常黒字を計上

段階利益の四半期推移(コロナ前～コロナ禍)

(単位：百万円)



※助成金：新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金・時短協力金、それぞれ申請手続きの完了をもって計上、入金までの期間は自治体によってさまざま

# 出退店の状況

■ 前期は5増53減（△48）、今期3Q累計は1増3減（△2）

（単位：店舗数）

（店舗数）	20/2期	21/2期	22/2期 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
直営店	261	213	<b>212</b>	<b>212</b>	<b>212</b>	<b>212</b>	<b>213</b>	<b>213</b>	<b>213</b>	<b>211</b>	<b>211</b>
磯丸水産	122	105	<b>104</b>	<b>104</b>	<b>104</b>	<b>104</b>	<b>105</b>	<b>105</b>	<b>105</b>	<b>104</b>	<b>104</b>
鳥 良	69	48	<b>48</b>	<b>48</b>	<b>48</b>	<b>48</b>	<b>48</b>	<b>48</b>	<b>48</b>	<b>48</b>	<b>48</b>
その他	30	25	<b>26</b>	<b>26</b>	<b>26</b>	<b>26</b>	<b>26</b>	<b>26</b>	<b>26</b>	<b>26</b>	<b>26</b>
連結子会社	40	35	<b>34</b>	<b>34</b>	<b>34</b>	<b>34</b>	<b>34</b>	<b>34</b>	<b>34</b>	<b>33</b>	<b>33</b>
FC店	14	14	<b>14</b>	<b>14</b>	<b>14</b>	<b>14</b>	<b>14</b>	<b>14</b>	<b>14</b>	<b>14</b>	<b>14</b>
全店舗計 （月末店舗数）	275	227	<b>226</b>	<b>226</b>	<b>226</b>	<b>226</b>	<b>227</b>	<b>227</b>	<b>227</b>	<b>225</b>	<b>225</b>
出 店	11	5	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
退 店	16	53	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>0</b>
増 減	△5	△48	△1	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	△2	<b>0</b>

磯丸事業：磯丸水産全店、 鳥良事業：鳥良、鳥良商店、 おもてなし鳥良、 その他事業：きづなすし、五の五、いち五郎他、  
 連結子会社：ジョー・スマイル(熊本)、クルークダイニング(長野)



# 販管費（固定費）の抑制について

■ 固定費を大幅圧縮、コロナ禍を経て、収益体質が定着

## 販管費(3Q累計)の比較

(単位：百万円)

費目分類		①前々期 (3Q累計)	②前期 (3Q累計)	③今期 (3Q累計)	増減率 (③/①)-1
直営店(店)		265	243	211	△20.4%
売上高		29,679	13,818	6,462	△78.2%
店舗	変動費				
	(F) 原価	8,670	3,952	1,993	△77.0%
	変+固				
	(L) 人件費	9,605	7,888	5,589	△41.8%
	(O) その他	3,903	1,649	1,751	△55.1%
本部	固定費				
	(R) 地代家賃	3,648	3,749	2,657	△27.2%
	(H) 本部経費	2,029	1,264	1,126	△44.5%
(L~H) 販管費計		19,187	14,551(※)	11,124	△42.0%

固定費減定着

(R) 家賃  
(H) 本部経費

**ポストコロナは固定費（R・H）抑制キープ、店舗費用上昇（L・O）の制御がカギ**

※2020年4月の緊急事態宣言下、全店休業に係るすべての販管費1,306百万円を特別損失として計上したため販管費の実質値は：13,245+1,306=14,551百万

# 損益計算書（連結）

■ コスト抑制の定着や助成金制度の活用で、第3Q累計の経常利益2,780百万円

(百万円)	2022年2月期	2021年2月期(前年同期)		2020年2月期(前々年同期)	
	3Q累計 (21年3月～11月)	3Q累計 (20年3月～11月)	増 減	3Q累計 (19年3月～11月)	増 減
売上高	6,462	13,818	△7,356	29,679	△23,217
売上原価	1,993	3,952	△1,960	8,670	△6,677
売上総利益	4,469	9,865	△5,396	21,008	△16,539
販売費及び 一般管理費	11,124	13,245 (※実質値：14,551)	△2,121	19,187	△8,063
営業利益	△6,655	△3,380	△3,275	1,821	△8,477
営業外収益	9,495	369	9,126	312	9,183
営業外費用	60	48	12	31	29
経常利益	2,780	△3,058	5,839	2,102	677
特別利益	103	1,704	△1,600	65	38
特別損失	66	2,386	△2,321	286	△220
税引前当期純利益	2,817	△3,741	6,559	1,881	936
法人税等合計	633	△234	868	693	△61
当期純利益	2,184	△3,506	5,691	1,188	996

百万円未満は切り捨てて表示

※2020年4月の緊急事態宣言下、全店休業に係るすべての販管費1,306百万円を特別損失として計上したため販管費の実質値は：13,245+1,306=14,551百万

# 貸借対照表 (連結)

■ 現預金128.7億円 (前四半期末差 約30.2億円)、自己資本比率47.9% (同 +0.4%)

(百万円)	2022年2月期	2022年2月期(前四半期)		2021年2月期(前期末)	
	3Q (21年11月末)	2Q (21年8月末)	増 減	4Q (21年2月末)	増 減
流動資産	17,530	14,768	2,761	13,923	3,607
うち現預金	12,871	9,844	3,026	11,628	1,243
固定資産	9,439	9,718	△ 278	10,612	△ 1,172
投資その他の資産	3,286	3,314	△ 28	3,750	△ 464
資産合計	26,970	24,486	2,483	24,535	2,434
流動負債	12,414	11,186	1,227	11,882	532
うち有利子負債	9,510	9,520	△ 9	9,580	△ 69
固定負債	1,633	1,666	△ 32	1,909	△ 275
負債合計	14,048	12,852	1,195	13,791	256
自己資本	12,921	11,633	1,288	10,743	2,178
純資産合計	12,921	11,633	1,288	10,743	2,178
負債・純資産合計	26,970	24,486	2,483	24,535	2,434

百万円未満は切り捨てて表示

ネットD/Eレシオ(倍)	△ 0.3	△ 0.0	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1
自己資本比率	47.9%	47.5%	0.4%	43.8%	4.2%

## [再掲] 今後の取り組み

■ 事態収束を見据え、新たな市場開拓や生産性向上への取り組みを開始

### ● コロナ禍の取り組み（前期まで）

#### テイクアウト・デリバリー

既存店舗活用でからあげ・うなぎ等展開、テイクアウト専用窓口の設置を進める

#### 固定費削減・現金充足

不要不急の支出避け、人員採用は一時凍結、販管費26.3%抑制  
不測の事態に備え短期借入93億円

#### 不採算店舗の退店

固定費高い(都心)、売上減少の大きい(空中階)店舗から退店53店、店舗数275→227店(△18%)

### ○ 今後の取り組み（今期から）

#### 食事・ランチ需要の開拓

ランチの充実や食事メニューの見直しを通して新業態開発へ着手  
(磯丸水産食堂・町鮨とろたく)

#### 販路の拡大

オンライン店「磯丸水産 お届けグルメショップ」開始、定番商品や餃子・鍋セットなど充実

#### グループシナジー

(クリエイイト・レストランツグループ)

- ・ 食材等の購買一元化
- ・ DX協調で業務効率化・省人化
- ・ 人財の横断的再配置

参照：当社HP「合併会社設立に関するお知らせ」(2021/7/14)

## [再掲] 今後の取り組み ~食事・ランチ需要の開拓

磯丸水産食堂  
自由が丘しらかば通り店 (21年3月~)

海鮮居酒屋『磯丸水産』の既存店舗を、新鮮な刺身定食、海鮮丼、焼き魚定食など多種多様なメニューを用意するめし処『磯丸水産食堂』としてリニューアル。



海の幸・ごはん処  
**上 磯丸水産食堂**

町鮨 とろたく  
元住吉オズ通り店 (21年3月~)

寿司・天ぷら・刺身と品揃え豊富な大衆寿司酒場『町鮨とろたく』、どこか懐かしい雰囲気の中で素材を活かした寿司と天ぷらと美味しいお酒をご提供します。



**町鮨 とろたく**  
TOROTAKU JAPAN



# [再掲] 今後の取り組み ~販路の拡大

公式オンラインショップ『磯丸水産 お届けグルメショップ』が「楽天市場」にグランドオープン!!

“お店の「旨い」をご自宅で”をコンセプトに、人気商品をご自宅でお楽しみいただける公式オンラインショップ「磯丸水産 お届けグルメショップ」をインターネットショッピングモール「楽天市場」にオープンしました。磯丸水産一番人気の「蟹味噌甲羅焼」をはじめ、「蟹味噌焼おにぎり」、「おもてなしとりよしの水炊き」、「いち五郎の餃子」、「玉丁本店の味噌煮込みうどん」、「四代目隆盛のもつ鍋」などをラインナップ。

ショップ名：『磯丸水産 お届けグルメショップ』  
<https://www.rakuten.co.jp/isomaru-gourmetshop/>



## ◆磯丸水産名物「蟹味噌甲羅焼」



年間200万食以上\*1 を販売する 人気No.1 の看板料理です。2009年のオープン以来、皆様に愛好いただく磯丸水産の看板商品のひとつとなりました。ご家庭では、網で焼いても、オーブントースターで焼いても美味しくお召し上がりいただけます。

\*1 2019年度実績

## ◆蟹味噌と蟹身を使用した「蟹味噌焼おにぎり」



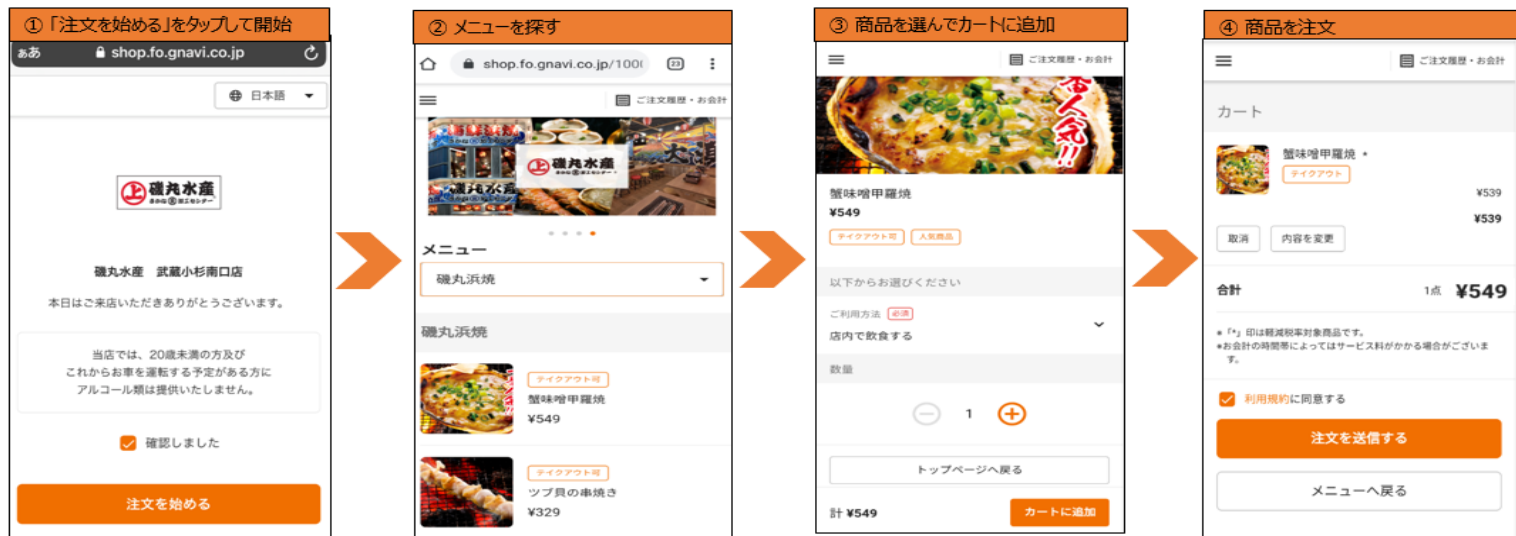
人気の「蟹味噌甲羅焼」の蟹味噌と「蟹身」で作った焼おにぎりです。濃厚な蟹味噌が中にもたっぷり入ってます。レンジで温めるだけでお召し上がりいただけます。いつでも食べたい時に便利な個包装です。

# [再掲] 今後の取り組み ～お客様の利便性向上の取り組み

ご注文とお会計はスマホで！モバイルオーダーシステム「ぐるなびFineOrder」を導入！（21年7月～）

お客様がご手持ちのスマートフォンにてQRコードを使って注文が可能！  
 複数のスマートフォンからの同時注文にも対応！  
 会計はスマートフォンで完結、レジに並ぶ必要なし！

- 衛生面強化
- 感染症対策
- コスト削減
- POS 連携
- 多言語対応



導入開始日：2021年7月6日（火）

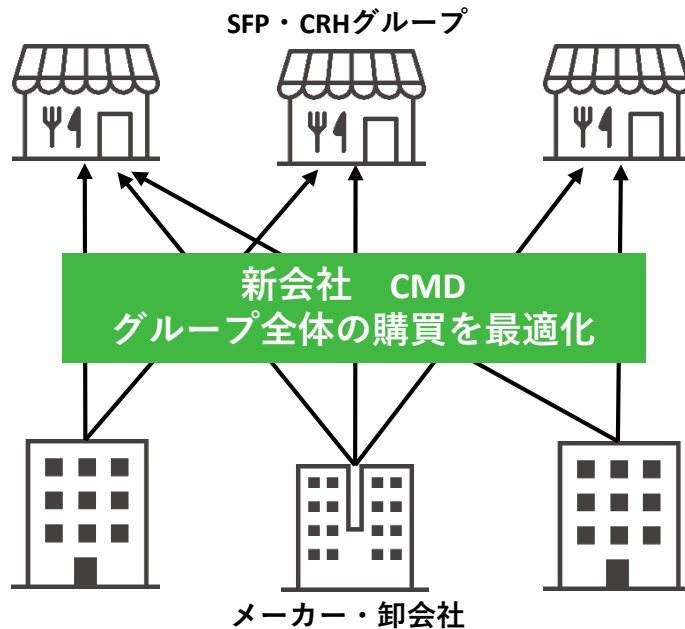
導入サービス：「ぐるなびFineOrder」

導入店舗：磯丸水産 武蔵小杉南口店 TEL：044-739-3630 席数：104席（今後多店舗で展開予定）

# [再掲] 今後の取り組み ～グループシナジー①

## 共同購買会社の設立 (21年9月～)

各社毎に行ってきた食材購買を一元的にリードする企画会社を設立 (合併)  
各社強調してグループ全体最適を図る。



### 株式会社CMD(シーエムディー)

所在地：神奈川県川崎市中原区  
(SFP本社オフィス内)

代表取締役：木村 哲博 (現SFP社商品本部長)  
取締役：佐藤 誠 (現SFP社代表取締役)  
取締役：島村 彰 (現CRH社常務取締役)  
設 立：2021年9月1日  
資本金：1百万円 (出資比率 SFP50%,CRH50%)

×

**グループ各社の購買一元化を通じて”食材の品質向上”と”物流の適正化”を両立**

※CRH：クリエイト・レストランツ・ホールディングス



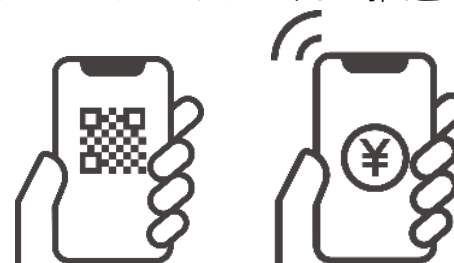
# [再掲] 今後の取り組み ~グループシナジー②

## DX推進プロジェクト発足 (21年8月~)

CRH社のDX推進プロジェクト(パートナー：SoftBank)に参画、顧客DB構築やセルフオーダー・セルフ会計導入、AI活用によるデータアナリティクス向上推進



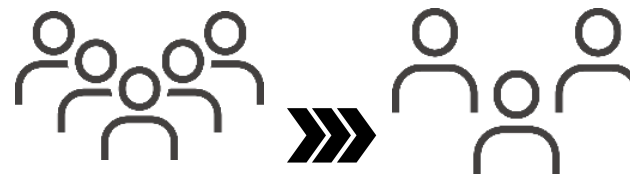
データ分析・AI活用



セルフオーダー/会計



顧客DB構築



バックオフィスの省人化→再配置



DX活用を通じてグループ全体の“コスト抑制”と“顧客満足・利便性向上”を両立

※CRH：クリエイト・レストランズ・ホールディングス

# [変更なし] 業績ガイダンス

■ 事態の長期化で売上の回復遅れるが、利益面の影響は限定的

## 通期業績予想の進捗

- ✓ 営業時間短縮や酒類提供制限の要請が長期化したため、売上高の回復はもたつく
- ✓ 足元（21年11月～）客足の戻りは7割程度、コスト抑制効果で利益面への影響は限定的

(百万円)	21年2月期	22年2月期	
	実績 (20年3月～21年2月)	3Q累計実績 (21年3月～21年11月)	通期業績予想 (21年3月～22年2月)
売上高	17,428	6,462	<b>15,000</b>
営業利益	△5,339	△6,655	△ <b>6,200</b>
経常利益	△4,900	2,780	<b>2,700</b>
純利益	△5,650	2,184	<b>1,800</b>

百万円未満は切り捨てて表示

# 新市場区分の上場適合基準の適合について

■ 2026年2月末をメドに「事業法人等」区分の株主様による株式売却を通じて流通株式比率の適合に取り組む

## ● 当社が申請した新市場区分（申請書提出：2021年12月23日）

・ プライム市場

## ● 当社の適合基準状況

プライム市場上場基準		適合状況	当社の状況 (基準日：2021年6月30日)
流通株式数	20,000単位以上	適合	81,336単位
流通株式時価総額	100億円以上	適合	112億円
流通株式比率	35.0%以上	<b>要改善</b>	<b>31.5%</b>
1日平均売買代金	20百万円以上	適合	90百万円

## ● 改善に向けた基本方針と取り組み（※）

2026年2月末までをメドとした「事業法人等」に区分される株主様の株式売却を通じた、プライム市場の上場基準適合化（流通株式比率）を基本方針とします。特に営業上の関係で当社株式を保有されている事業法人等を中心に依頼先を定め、ご協力を得る取り組みを行います。

（※）参照：当社HP「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」（2021年12月23日）

## Appendix

---

株主還元について	21P
損益計算書 四半期別	22P
貸借対照表 四半期別	23P

# [再掲] 株主還元

■ コロナ禍、中間配当を無配、期末配当予想は未定、株主優待券（オレンジ・紫）のご利用期限を延長

## 2022年2月期 中間配当および期末配当

コロナ禍、先行き不透明につき、恐れながら中間配当を**無配**、期末配当予想は**未定**とさせていただきます。株主の皆様におかれましては何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

## 2020年8月31日権利確定分及び2021年2月28日権利確定分の株主優待券

**従来通り**、毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式1単元（100株）以上ご所有の株主様を対象として**株主優待券を贈呈**いたします。

コロナ禍、休業や時短営業でご迷惑をおかけしてきたことに鑑み、株主優待券（券面色：オレンジ 券面記載のご利用期限：21年5月31日）及び株主優待券（券面色：紫 券面記載のご利用期限：21年11月30日）について、**ご利用期限を延長し、2022年2月28日までご利用可能**とさせて頂きました。

年2回 お食事券 贈呈	基準日	2月末日	8月31日
	贈呈時期	6月上旬頃	11月中旬頃
保有 株式数	100株～499株	お食事券 4,000円分	お食事券 4,000円分
	500株～999株	お食事券 10,000円分	お食事券 10,000円分
	1,000株～	お食事券 20,000円分	お食事券 20,000円分



※上記優待券はいずれも**2022年2月28日**までご利用いただけます。今後、更なる延長措置を行う場合は、当社HPにてお知らせいたします。

# 損益計算書（連結） 四半期別

(百万円)	2021年2月期 (20年3月～21年2月)					2022年2月期 (21年3月～11月)			
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	3Q累計
売上高	3,044	4,789	5,984	3,610	17,428	2,229	1,096	3,136	6,462
鳥良事業	702	935	1,276	677	3,590	401	98	566	1,066
磯丸事業	1,703	2,900	3,600	2,122	10,325	1,122	451	1,779	3,354
その他事業	359	547	697	516	2,119	407	267	467	1,142
連結子会社	279	406	410	293	1,388	297	279	323	899
売上原価	914	1,379	1,657	988	4,941	709	359	923	1,993
売上総利益	2,129	3,410	4,326	2,622	12,487	1,519	736	2,213	4,469
販管費	3,709(※)	4,827	4,709	4,580	17,826	3,802	3,562	3,759	11,124
営業利益	△1,580	△1,417	△382	△1,958	△5,339	△2,283	△2,826	△1,545	△6,655
営業外収益	119	128	122	135	505	2,180	4,092	3,223	9,495
営業外費用	9	22	15	18	66	18	18	22	60
経常利益	△1,470	△1,311	△276	△1,841	△4,900	△121	1,247	1,654	2,780
特別利益	1,057	462	184	743	2,447	32	71	0	103
特別損失	1,671(※)	361	353	856	3,243	1	35	29	66
税引前 当期純利益	△2,084	△1,210	△446	△1,954	△5,695	△91	1,284	1,624	2,817
法人税等	△618	△381	766	188	△45	55	243	333	633
当期純利益	△1,465	△828	△1,212	△2,143	△5,650	△147	1,040	1,291	2,184

百万円未満は切り捨てて表示

※2020年4月の緊急事態宣言下における全店休業に係るすべての販管費1,306百万円は、特別損失として計上（販管費の実質値：3,709+1,306=5,015百万円）

# 貸借対照表（連結） 四半期別

(百万円)	2021年2月期				2022年2月期		
	1Q (20年5月末)	2Q (20年8月末)	3Q (20年11月末)	4Q (21年2月末)	1Q (21年5月末)	2Q (21年8月末)	3Q (21年11月末)
流動資産	14,389	14,019	14,558	13,923	13,500	14,768	17,530
うち現預金	12,511	12,867	13,103	11,628	10,889	9,844	12,871
固定資産	14,479	14,173	12,487	10,612	10,087	9,718	9,439
投資その他の資産	5,484	5,778	4,664	3,750	3,465	3,314	3,286
資産合計	28,869	28,193	27,046	24,535	23,587	24,486	26,970
流動負債	11,958	12,234	12,357	11,882	11,273	11,186	12,414
うち有利子負債	9,470	9,610	9,572	9,580	9,521	9,520	9,510
固定負債	2,002	1,876	1,816	1,909	1,720	1,666	1,633
負債合計	13,960	14,110	14,174	13,791	12,994	12,852	14,048
自己資本	14,915	14,086	12,872	10,743	10,593	11,633	12,921
純資産合計	14,908	14,082	12,872	10,743	10,593	11,633	12,921
負債・純資産合計	28,869	28,193	27,046	24,535	23,587	24,486	26,970

百万円未満は切り捨てて表示

本資料はSFPホールディングス株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

[本資料に関するお問い合わせ先]

S F Pホールディングス 経営企画部

TEL： 044-750-7154

ホームページ： <https://www.sfpdining.jp>